

使用上のご注意

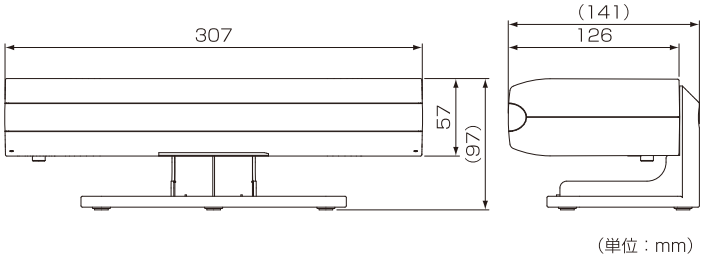
- 以下のような場所では受信レベルが低く受信できない、またはブロックノイズが出ることがあります。
 - ・電波が弱い場所
 - ・周囲に電波を遮る、または反射する障害物のある場所など。
- 屋外で設置の場合、アンテナは電波到来方向の障害物をさけるように、できるだけ高い位置に設置してください。
- 屋内で使用していて受信状態が不安定な場合は、アンテナを屋外に設置してください。
- アンテナを設置するとき、ネジ類はドライバーやスパナなど工具を用いて、指定のトルクでしっかりと締め付けてください。
- このアンテナに多量に雪が積もった場合、受信不良が起こったり、雪の重みでアンテナが破損する恐れがあります。
- 付属品のスタンドは屋内でのみ使用してください。
- 地域によって受信する電波が水平偏波（横置）、垂直偏波（縦置）かをご確認の上、ご使用ください。詳しくはご購入の販売店にお問い合わせください。

規格特性

品名	UHFアンテナ
品番	US210
受信周波数 (MHz)	470～710(ch.13～52)
偏波面	水平または垂直
インピーダンス (Ω)	75 (F形)
利得 (dB)	3～5
V S W R	2.5以下
前後比 (dB)	9～16
半値幅 (°)	60～75
適合マスト径 (mm)	φ15～38
寸法 (H×W×Lmm)	97×307×141 (スタンド含む)
質量 (kg)	0.7 (スタンド含む)

※耐風速：45m/s（破壊風速）
耐風速は破壊風速（アンテナに風圧を加えている間アンテナの一部または全部が飛散しない最大風速）です。
※仕様は改良により、予告なく変更させていただくことがありますのでご了承ください。

外形寸法図



製品に関する
お困りごとを解決!

DXサポート!
DXアンテナ サポートポータル

スマートフォンで
各種設定方法が
わかる➡

ホームページでも初期設定や、各種端末の詳しい手順を確認できます。
QRコードからアクセスしてください。

11002

※この製品を処分するときは、地方自治体のルールに従って処理してください。

保証書

型番	
US210	
ご購入先 販売店	
ご住所・ご店名	
電話 () -	
お客様 お名前	
ふりがな	
ご住所	
電話 () -	
お買上 年月日	
年 月 日	
保証期間	
お買上日から 1 年 間	

※本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管ください。

カスタマーセンター
土・日・祝日もご利用ください!!

0570-033-083

※全国一律料金でご利用いただけます。
※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。
※ナビダイヤルは各社音声通話定額サービスの対象外となっております。

DXアンテナ株式会社

■受付時間 9:30～17:00 (夏季・年末年始休暇は除く)
■一部のIP電話で上記番号がご利用にならない場合: 050-3818-9016

ホームページアドレス
https://www.dxantenna.co.jp/

(1908)

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、
ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

DIGITAL

UHFアンテナ

地上デジタル放送用(ch.13～52)
[水平・垂直共用、出力75Ω(F形座)仕様]

US210

強電界地域用

※強電界地域とは…
電波塔から距離が近く、電界強度が
80dBμV/m以上の地域のことです。
電波塔が見えていることが目安です。

製品の特長

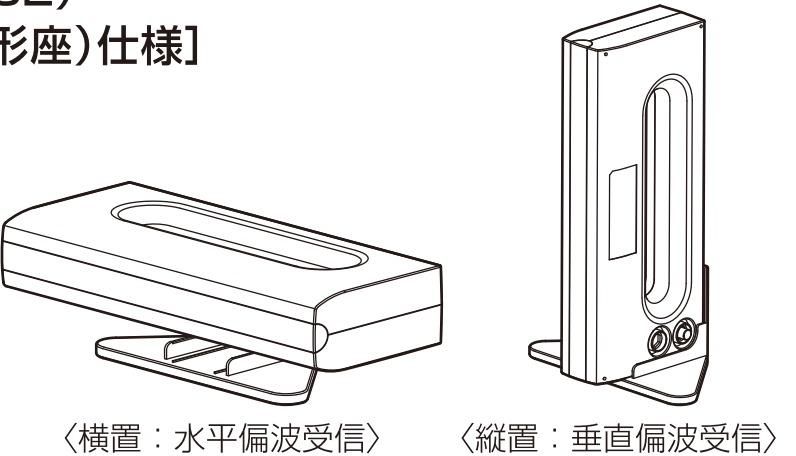
- ツートンカラーのスマート・コンパクトな外観で、テレビの横など室内はもちろん、ベランダやマストなどの屋外にも設置できます。
 - 「フラットスリーブアンテナ方式(※)」採用により従来のアンテナに比べて大幅な小形化と高性能化を実現しました。
 - 土壤汚染・大気汚染など環境に影響を与える物質を使用しないことなど厳しい自社基準をクリアした製品です。
- (※) 社内名称

安全上のご注意

	△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
	○記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は接触禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は注意して行なってください）が描かれています。

警告

- アンテナの設置・受信には経験が必要ですので、お買い上げの販売店などにご相談ください。
- アンテナのケースを開けたり、分解して内部に触れないでください。故障やけがの原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店などにご依頼ください。
- アンテナや取付装置などに登ったり、乗ったりしないでください。特にお子様のいるご家庭では注意してください。落ちたり、倒れたり、破損したりして、けがの原因となります。
- 雷が鳴り出したら、アンテナやケーブルには触れないでください。
感電の原因となります。



- 次のような場所に設置しないでください。
 - ・強度の弱い場所や地盤の弱い場所、ぐらついたり振動する場所
 - ・人や車両の通行の妨げになる場所
 - ・送配電線、ネオンサイン、架線や電話線の近く
 - ・煙突の付近や、高温になる場所

- 高所など足場の悪い場所で設置作業をする際は、十分注意してください。また、アンテナの部品や工具類を高いところから落とさないでください。落ちたり、すべったり、けがの原因となります。

- 組み立てや取り付けのネジやボルトは、締め付け力（トルク）に指定がある場合はその力（トルク）で締め付け、堅固に固定してください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

- 風の強い日や雨、雪、雷などの天候が悪い日は、危険ですから設置工事や点検をしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

注意

- 台風の後や積雪の後などは、アンテナや取付装置に緩みや異常が生じることがあります。そのままにすると破損したりして、けがや故障の原因となることがあります。点検はお買い上げの販売店または工事店にご依頼ください。
- アンテナや取付装置などに洗濯物や他の物品を掛けたりしないでください。倒れたり、破損したりして、けがの原因となることがあります。
- マンションやアパートなどによっては、屋外の取り付けに規制のあるところがあります。管理組合、管理事務所、自治会などに必ずご確認のうえ、取り付けてください。

お取扱いの前に

- 組み立て、取付作業は、この取扱説明書をよくお読みのうえ行なってください。
- アンテナを落としたり、ぶつけたり、無理な力を加えることのないよう注意してください。
- 屋根や壁面、ベランダの手すり等に取り付ける場合、設置場所の強度に注意し、また長期にわたり台風などの強風に耐えるように強固に固定し、落下、転倒しないよう安全性と信頼性を十分に考慮してください。
- 強風の時や、雨や雪など天候の悪いときは危険ですから、取付作業は行わないでください。

各部の名称

アンテナ本体（専用スタンド付）

金具取付ボルト
(六角穴付ボルト M6×15)

スタンド

出力端子

付属品

マスト取付金具
1個

マスト押え金具
1個

六角ボルト
(M6×75)
2本

防水キャップ
1個

六角棒スパナ
5mm
1本

お客様に準備いただくもの

屋内設置

同軸ケーブル
(加工済)

L形プラグ

アンテナとテレビをつなぎます

屋外設置

同軸ケーブル
(S-5C-FBなど)

F形接栓

アンテナとテレビをつなぎます

ベランダ取付金具（ベランダ取付の場合）

※ベランダ以外に取付る場合はマスト・屋根・馬・ステッキヤなどが必要です。

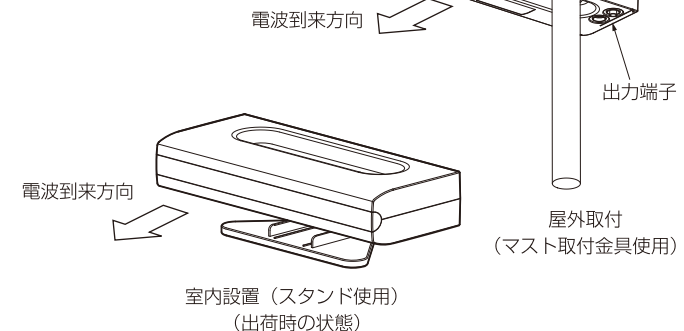
スパナ、ドライバー等の工具類

受信偏波とアンテナ取付方向

- 受信する電波の偏波面（水平または垂直）に合わせてアンテナの取付方向を下図のように変えてください。取り付ける場所の放送が水平偏波か垂直偏波かはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
出荷時は横置（スタンド使用、水平偏波受信）となっています。

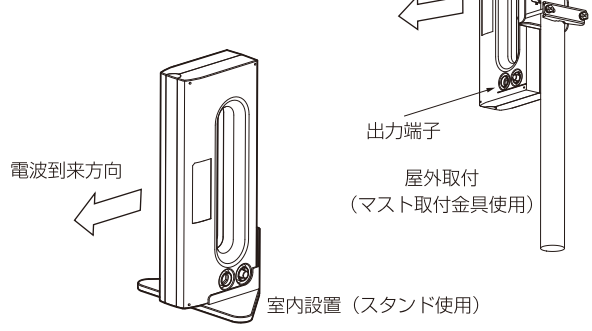
〈水平偏波受信のとき〉

アンテナ本体の出力端子が下向きになるように取り付けてください。



〈垂直偏波受信のとき〉

アンテナ本体の出力端子が下側になるように取り付けてください。



屋内設置

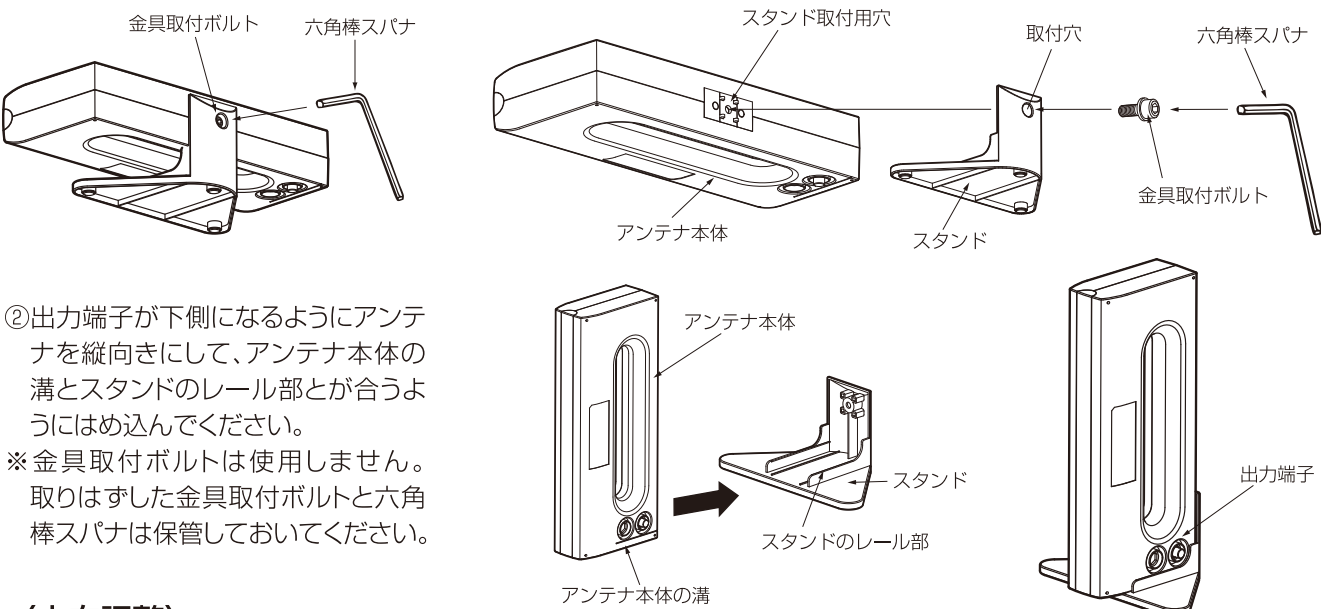
〈アンテナ部とスタンドの取り付け／取りはずし〉

横置き(水平偏波受信)の場合

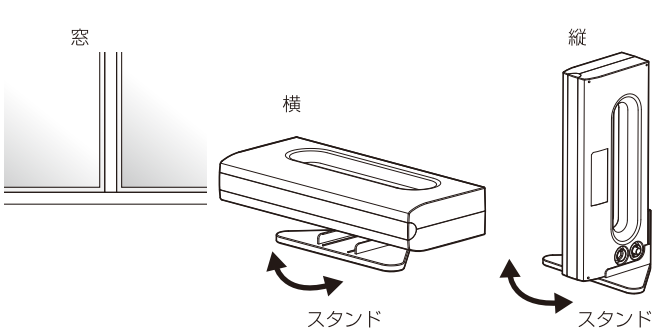
- 本体を箱から取り出し、そのまま同軸ケーブルでテレビと接続してご使用ください。

縦置き(垂直偏波受信)の場合

- ①出荷時は金具取付ボルトでアンテナ本体とスタンドを固定しています。
縦置にする場合は付属の六角棒スパナで金具取付ボルトを回して、スタンドを取りはずしてください。



〈方向調整〉



- 屋内で使用する場合は、スタンドを利用して良好な受信ができるようにアンテナの方向を調整します。
詳しくは「使用例」をご覧ください。

ポイント

窓際などでアンテナの向きをいろいろ変えながら最も良く受信できるアンテナの向きを探してください。

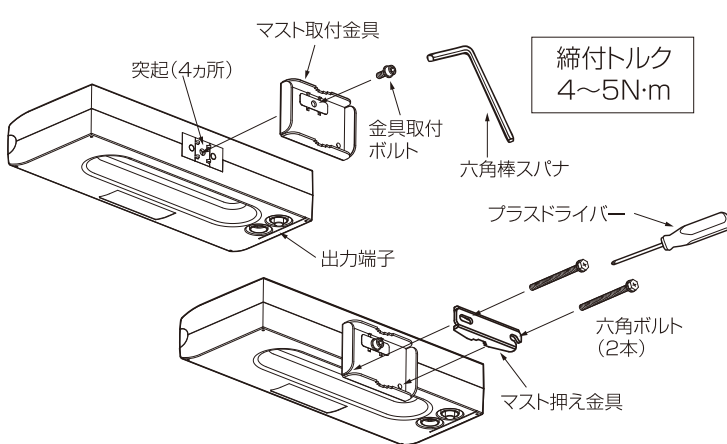
屋内に設置して良好な受信ができない場合は、ベランダなどの屋外に設置することをおすすめします。

屋外設置

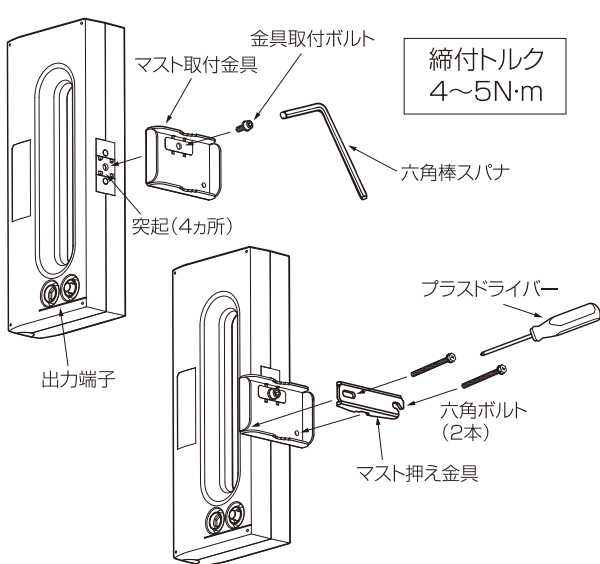
〈マスト取付金具の取り付け〉

- ①アンテナ本体からスタンドを取りはずします。（左ページの〈アンテナ部とスタンドの取り付け／取りはずし〉をご覧ください。）
- ②アンテナ背面の4つの突起部分にマスト取付金具をはめ込みます。このとき、受信する放送の偏波に合わせてアンテナ本体の向きを横向きか縦向きかを選びます。（放送が水平偏波か垂直偏波かはお買い上げの販売店にお問い合わせください。）
- ③六角棒スパナを使用してアンテナ本体とマスト取付金具を金具取付ボルトで締め付け固定します。
- ④アンテナ本体の出力端子を下側にし、図のように六角ボルトをマスト押え金具の穴に通してマスト取付金具のボルト穴に取り付けます。

〈水平偏波受信の場合〉

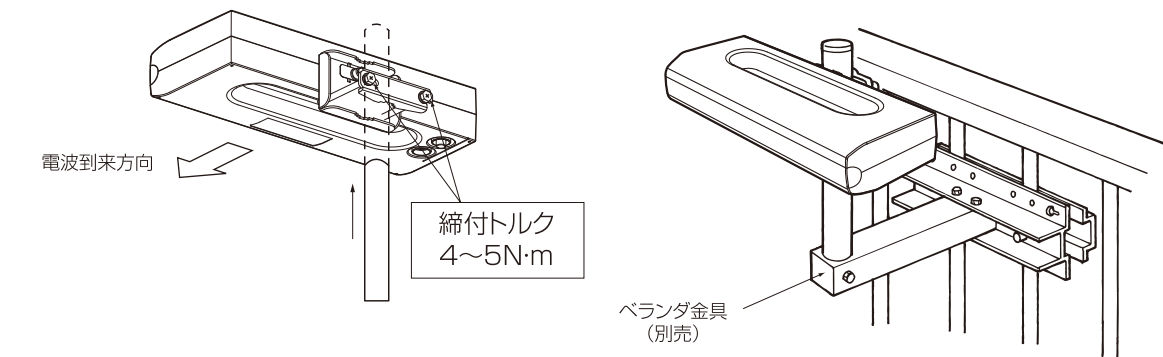


〈垂直偏波受信の場合〉



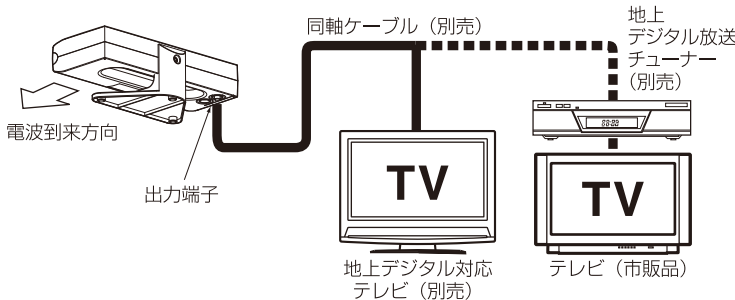
〈別売のベランダ金具を使用する場合〉

- ベランダ金具（別売）をベランダや壁面に取り付けてください。
（取付方法はベランダ金具の取扱説明書をご覧ください）
ベランダに取り付ける場合は、マスト径がφ15～38mmのベランダ金具（別売）をご使用ください。



使用例

- ①アンテナ本体の出力端子と地上デジタル放送チューナー内蔵テレビまたは地デジチューナーのアンテナ入力端子を同軸ケーブルで接続してください。
- ②地上デジタル放送チューナー内蔵テレビや地デジチューナーのアンテナ設定等を確認しながら、受信レベルが最大になるようにアンテナの方向を調整してください。（詳しくはご使用の地上デジタル放送チューナー内蔵テレビなどの取扱説明書をご覧ください。）

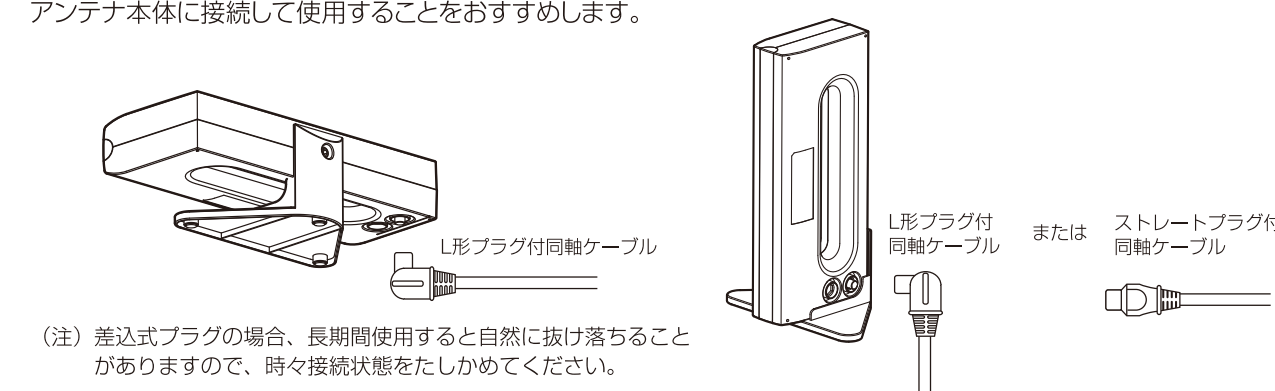


アンテナを左右に動かして受信レベルが最大になるようにアンテナの方向を調整してください。

本体へのアンテナケーブル（別売）の接続方法

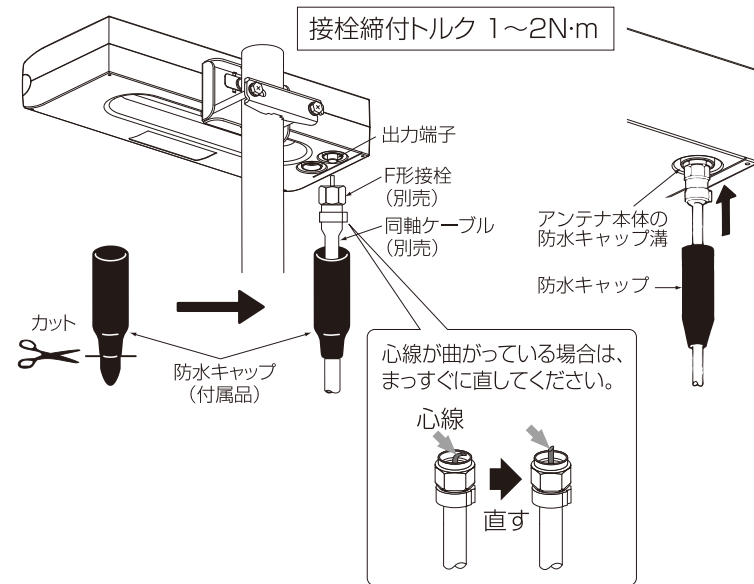
〈屋内で使用する場合〉

- 屋内で使用する場合は、図のように付属の防水キャップを使用する必要はありません。
- 別売のF形接栓加工済の同軸ケーブル(2C相当の両側L形プラグまたは片側L形、片側ストレートプラグ)等のL形プラグ側をアンテナ本体に接続して使用することをおすすめします。



〈屋外で使用する場合〉

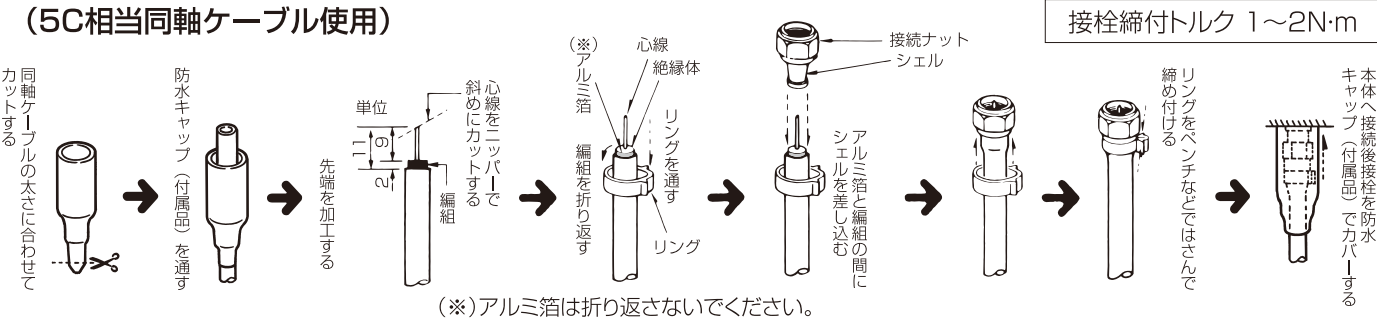
- 同軸ケーブル、接栓(いずれも別売)を使用し、図のように加工して接続するか、または接栓付同軸ケーブル(別売)をご使用ください。
※同軸ケーブルはできるだけ4Cまたは5Cケーブルのご使用をおすすめいたします。接栓は同軸ケーブルに合わせた製品をご使用ください。
- 付属の防水キャップの先端をケーブルの太さに合わせてカットし、同軸ケーブル(別売)に通しておいでください。
- 同軸ケーブル先端にF形接栓を取付けた後、アンテナ本体下側の出力端子にまっすぐ確実に接続してください。
- F形接栓をアンテナ本体に接続した後、防水キャップ(付属品)をアンテナ本体の防水キャップ溝の奥まで確実に差し込んで接栓部を雨水などからカバーしてください。



〈F-5接栓（別売）へのアンテナケーブルの接続方法〉

5C相当同軸ケーブルにF-5接栓（5C同軸ケーブル用接栓）を取り付ける場合の加工例です。

（5C相当同軸ケーブル使用）



- 同軸ケーブルの先端を加工する場合、心線・編組に傷をつけたり上記加工以外の加工をすると断線やショート、機器の破損の原因になりますのでご注意ください。また心線と編組は、絶対に接触しないようご注意ください。
- 接栓を取り付けた同軸ケーブルの心線は、曲がっていないかを確認し、曲げないように接続してください。
- 設置した後で抜けたりしないように、同軸ケーブルのリングはしっかりと締めてください。
- この製品へのF形接栓の接続は、接続ナットを1～2N・mで締め付けてください。（2N・m以上では締め付けしないでください。）
- 接続する同軸ケーブルの接栓の取り付けは、その同軸ケーブル専用の接栓を説明書通り加工してご使用ください。特殊な加工をしたものを使用すると特性の悪化や機器の破損につながります。